

SAKU らいぶ 56号



図書館だより

平成 27 年新春号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

[ 内容 ]

- ・本の小宇宙、図書館の大宇宙
- ・体験学習発表会に行ってきました
- ・季を愛でる
- ・SAKUらセレクト
- ・NewFace 登場
- ・らいぶ Question
- ・図書館開館カレンダー

## 本の小宇宙、図書館の大宇宙

作新学院大学経営学部 特任教授 橋立達夫

人は誰でも二つの宇宙を持っている。心や知識といった内なる宇宙と、その人を取り巻く社会という外なる宇宙である。二つの宇宙はメビウスの輪のように、境目なくつながっている。そして人の成長とともに、一人ひとりの宇宙は果てしなく広がっていく。

私は大学での講義や地方での講演のとき、たくさんの方々の宇宙が、今、この時間、この場所で、重なっているという奇跡にいつも感動を覚える。さらに私の宇宙の一部を吸収し、継承して下さろうとしていることを実感できるこの時間は、この仕事をしてきてよかったと思う至福の時間である。

さて、本は、その著者が自分の宇宙の一部を切り取って示した小宇宙である。だから本を読むことによって、その小宇宙、すなわち自分の知らない世界を取り込んで自分の宇宙を広げることができる。たとえば居ながらにして行ったこともないヨーロッパの街やアフリカのジャングルの中に身を置き、そこからまた空想を広げることができる。



先人の知恵を吸収することもできる。自分の宇宙を広げるのは本当に楽しい。そんな小宇宙が何十万冊も詰まった図書館は大宇宙である。ネットサーフィンも楽しいが、図書館の中の宇宙サーフィンの楽しみも是非多くの人に味わってほしい。

## 体験学習発表会に行ってきました！！

昨年11月、宇都宮東高等学校附属中学校の生徒5名が本学図書館で社会体験学習を行い、カウンターでの本の貸し出しや雑誌の配架、ポップアップ・カードづくりなどに熱心に取り組みました。



この社会体験学習の発表会が1月20日に開かれたので、宇東附中におじゃましました。

生徒たちが強く印象に残ったことは、24万冊の蔵書全てがコンピューターで管理されていることや、本の整理や配架など体力を使う作業が多いことのようにでした。



発表はパワーポイントを駆使して行われ、図書館での作業の様子が整然と説明されていました。声の大きさや話し方のテンポなどにも工夫が見られ、わかりやすく、気持ちが引き付けられる素晴らしいプレゼンでした。



### 季を愛でる

#### 「正月」

図書課長 野中千秋

「正月」は本来1月の別称ですが、「年神様（としがみさま）」という神様をお迎えする行事でもあります。一般的には1日を「元旦」、3日までを「三が日」、7日までを「松の内」といいその年の五穀豊穰、無病息災を願います。

皆様にとりましても良いお年をお迎えなされたことと思います。

一陽来復 祠の鈴のすず清し音 千秋



～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～

女子高生の裏社会 仁藤夢乃 著 光文社新書 080/KO/711

秋葉原の街にあふれる「JK お散歩」や「メイドリフレ」の店。そこで働く10代の少女たちのインタビューをまとめた本です。安易な気持ちからJK産業のアルバイトを始めて援助交際にまで陥るケースや、その日食べる物に困るほど貧しい生活をしている姿が浮き彫りになります。

著者の顔写真を見た段階では、どうしてこんな若くてきれいな女性がこのような暗く重いテーマを選ぶのか不思議に思えるほどです。しかし著者自らが高校を中退し渋谷ギャル生活を送っていたり、またメイドカフェで働いていたという経験から、その状況がどれだけ危ういものなのかを知っているのです、書かずにはいられないと言うのです。

無知で無防備に見える少女たち。しかし彼女たちは家庭や学校に居場所がなく、社会的なつながりを失っています。大人がこの現実を見つめ、厳しい状況を少しずつでも変えていかなければならないと考えさせられる一冊です。



～新しく作大に配属になった職員からのメッセージです～

## 出会い

学生課 入江利和

「出会い」…僕の人生の中で最も大切にしてきたことだ。人との出会いは、新しい知識や考え方を得ることが出来る。本との出会いもそれとよく似ている。

最近ある本と出会った。その中の「努力したから成功するとは限らない。しかし、成功している人は必ず努力している」という言葉が心に響いた。

努力とは何だろう。ただがむしゃらに行動すればいいというものではない。行動する前に自分をよく知ることが大切だ。自分自身に問いかけ、答えを出し、それを繰り返すことで、今やるべきことが自ずと見えてくる。この本のおかげで、努力とは他人と同じことを求めるのではなく、自分自身を見つめ、変化を恐れず行動することだと再認識した。

人との出会い、本との出会い。学生のみなさん、出会いを通して多くを学び、自らの可能性を広げてください。きっとそれは人生を変えるキッカケとなり、後々の大きな財産になるでしょう。

# らいいい Question

山の遭難 ～あなたの山登りは大丈夫か～

786.1/Ha より



かつては山に登るのなら、天気図の読み書きができ、地図と(①)を使いこなせるのは当たり前だった。しかし、今の登山者はリーダーについていくだけだから、そうした(②)を身につけようとしな。登山は自己責任で行うものである。自らの意志で、自分の足を使って山に登るのだから、そこで起きたことに対して(③)で責任をとるのは当然だろう。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。


## 図書館開館カレンダー


### 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

### 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

 9:00~16:00

 9:00~17:00

 休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

